



河北町立北谷地小学校

令和7年2月28日

学校運営協議会だより



来年度に向けての意見交換

2月20日(木)に、第2回学校運営協議会が開催されました。はじめに、「学校評価」の結果をもとに今年度の教育活動報告と、来年度の学校経営計画について提案を行い、その後、来年度に向けての意見交換を行いました。

学校評価では、「楽しく学校生活を送っている」が児童・保護者共にABが94%を超えた。全学年で良い関係性がある。「あいさつ」は大変よくできた。今年度は特に遠くからでも自分からできるところ。「思いやり・温かい言葉」は言葉の使い方で傷つく児童がいた。学習面では、協働的に学ぶことができ、真剣である。読書について高評価が増えた。「あきらめない力」では、苦手なものにも挑戦する児童が増えた。地域学習の充実や家庭での学習、メディアコントロールが課題。

来年度は、地域を活かした学習や確かな学力の向上を目指す。良好な人間関係を保ち、夢(目標)の実現、自分たちの生活を自分たちで形作る子ども達を育てていきたい。

子ども達の様子について

- 挨拶は大変立派である。遠くからでも声を掛ける子どもたちで嬉しい。来年度も引き続きお願いしたい。
- 6年生を送る会を見て、昨年度よりもますますよくなっている。子どもたちの温かな関係性を見ることができた。日常の生活からも、地域との協力や一緒になって活動するいい学校になっている。



地域との連携事業について

【6年生を送る会】メッセージのプレゼント

- 体験が楽しいことや伝承活動につながればよい。大人と子どもと活動をすること、地域の方と一緒にって行事に参加し子どもの成長につなげてほしい。
- ファンタジーナイトや老人会の小正月行事など保護者のパワーや老人クラブのまとまりがすごい。喜んでもらえると頑張れる。組織の活性化にもつながる。
- 改善センターと子どもたちの距離が近くなり、多くの子どもが集まってくる。子どもたちが来ると地域が元気になるし、地域で子どもを見守る状況ができている。学校を挟んで、かかわりがあるところに助けてもらっていて、保護者とつながる機会が多くなった。
- 複式学級や地域行事など、学校再編後のことを見据えていろいろなことを考えていきたい。

いじめについて

- 保護者との話が大事。3・4年生の壁があるように感じる。そのまま引きずらないように。
- いじめが無くならないが少なくなるようにしたい。ただ、いじめが起きたときの対応の仕方が大事。子どもは人間関係の中で成長するので、一緒になって考える機会ととらえたい。
- 言葉や態度を被害者がどう感じたかによって認知される。我慢しているところもあるし、我慢ばかりして「なにくそ！」となるわけでもないのが今の子ども。
- 言葉遣いは大事である。使ってはいけない言葉はこれまでの関係性からも根深いものがある。
- 言葉遣いのことに関する児童委員会のアンケート調査、全校集会など、自分たちで学校をつくることが中学校に行っても力になる取り組みではないか。

地域の皆様に見守られていることに感謝し、学校教育活動が地域のエネルギーになるよう努力してまいります。たくさんのご意見ありがとうございました。